

入間市都市計画マスタープラン一部改定（案）に対して寄せられた意見等の概要と市の考え方

入間市では、令和4年9月13日（火）から令和4年10月12日（水）までの期間で「パブリックコメント」を実施しました。その結果、3人の方から12件の意見等が寄せられました。

No.	意見等の概要	市の考え方（対応）
1	圏央道青梅インターチェンジ北側の地域を工業系土地利用エリアに位置づけるとのことだが、何年何月までに優良企業を誘致し、その成果として、どの程度入間市の税収や雇用の増加に寄与するのか、具体的なプランを示すべきではないか。	都市計画マスタープランは、あらかじめ中長期的な視点に立った都市の将来像を明確にし、その実現に向けての大きな道筋を示すものです。 今回の見直しを起点に、具体的な検討を進めてまいります。
2-1	高齢化や代替わりで耕作を続けられない土地が増加しており、金子地区、入間市全体の発展のため、工業系土地利用推進には賛成である。 この計画は行政と民間どちらが主導なのか。交通利便性のある場所であるので、ただの工業地帯ではなく、例えば非常時に防災拠点となる公園や医療機関を整備するなど行政からの働きかけを希望する。金子地区には現在、内科外科の医療機関がないため、早急の課題である。	都市計画の基本的な指針である入間市都市計画マスタープランに工業系土地利用推進エリアを新たに位置付け、市として土地利用を推進するものです。 いただいたご意見について、今後の検討の参考とさせていただきます。
2-2	対象エリアに農業を続けたい方がいる場合、耕作の継続が困難な土地を代替地として斡旋するような計画はあるか。	地権者の意向を確認しながら、代替地確保の可能性も含めて検討してまいります。
3-1	早期に都市計画変更する予定があるのか。無いのであれば、周辺地域のインフラ整備も含め、次期都市計画マスタープラン改定による変更でも良かったのではないか。	中長期的な視点に立った都市の将来像を明確にし、その実現に向けての大きな道筋を示すため、第6次入間市総合計画・基本構想の見直しに合わせて改定するものです。

3-2	<p>都市区画区域の整備、開発及び保全の方針ではどのように表現されているのか。また、同方針を踏まえた計画なのか。</p>	<p>入間都市計画「都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」では、当該都市計画区域の都市づくりの基本理念の「地域の個性ある発展」に、「高速道路ネットワークの整備による波及効果や地理的な優位性を活かし、産業の集積を図るとともに、雇用の場を確保し、地域の活力の源となる次世代が暮らしてみたいくなるような魅力あるまちづくりを進める。」と定められております。今回の見直しは、当該基本理念に即しています。</p>
3-3	<p>当該地は農地（市街化調整区域）であり、農地の保全と、区域区分の変更による工業系土地利用の推進との整合性をどのように図っていくのか。</p>	<p>農業との健全な調和を図りつつ、個別具体の都市計画を定めてまいります。具体的な対応については、今後検討してまいります。</p>
3-4	<p>当該地は市街化調整区域で市街化を抑制する区域であり、整備を行うには都市計画上市街化区域へ編入が必要で、そのためには、農用地区域の解除が前提となる。決定権者である県との協議は行っているのか。</p>	<p>工業系土地利用の実現には、農用地区域の除外及び市街化区域の編入を併せて進める必要があります。今後、所管行政庁との調整に着手してまいります。</p>
3-5	<p>この計画は突然出てきが、どのような経緯で計画しようとするようになったのか。</p>	<p>第6次入間市総合計画について、社会環境の変化に対応するため、令和4年度から令和8年度までを計画期間とする後期基本計画の策定に併せて、基本構想を見直し、土地利用構想において圏央道青梅インターチェンジの北側の地域を新たに工業系土地利用推進エリアに位置付けたことをきっかけにしています。</p>
3-6	<p>今回の計画は、高速道路の整備による地理的な優位性がある地域であり、企業に土地を提供することにより、税収増や雇用の創出となるため、歳入の確保という意味で計画されたのか。（財政面で歳入と歳出が乖離していく傾向を改善する</p>	<p>高速道路ネットワークの整備による波及効果や地理的な優位性を活かし、産業の集積を図るとともに、雇用の場を確保し、地域の活力の源となる次世代が暮らしてみたいくなるような魅力あるまちづくりを目指し計画しております。</p>

	ための策なのか。)	
3-7	青梅インターへの接続道路や、県道青梅・入間線の拡幅整備が遅々として進まない中、茶どころ通りの整備も併せて明記したらどうか。	工業系土地利用の整備に伴う道路などのインフラ整備については、今後検討してまいります。
3-8	農地の集約等により、茶どころ通りの沿道を区域区分の変更、拡幅整備を行い、例えば道の駅の計画等、活気のある地域づくりを計画してみてはどうか。	いただいたご意見について、今後の検討の参考とさせていただきます。
3-9	ある程度の見通しがあって基本構想に追加されたものだと思いますので、基本構想と同じ文言ではなく、もう少し踏み込んだ具体的な表現はできないのか。	あらかじめ中長期的な視点に立った都市の将来像を明確にし、その実現に向けての大きな道筋を示しております。